

平成30年度
愛知県立農業大学校



農業をささえる担い手を育成しています

学 校 案 内



大 学 校 の 概 要

本校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として農業後継者や農業の担い手を養成する県立の施設です。

昭和9年追進農場に端を発し、追進営農大学校、農業技術大学校との統合等、時代とともに変遷し現在に至り、県内で活躍している多数の農業経営者並びに農業技術者を輩出してきました。平成20年に、教育部農学科は、学校教育法に基づく「専修学校」になりました。

目 的

農業後継者及び農業の担い手等に対し農業の実践教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する。

目 標

- 1 農業者としての自信と誇りの醸成
- 2 農業に関する知識・技術・技能の習得
- 3 経営管理能力の養成
- 4 洞察力・応用力・創造力及び協調性の養成

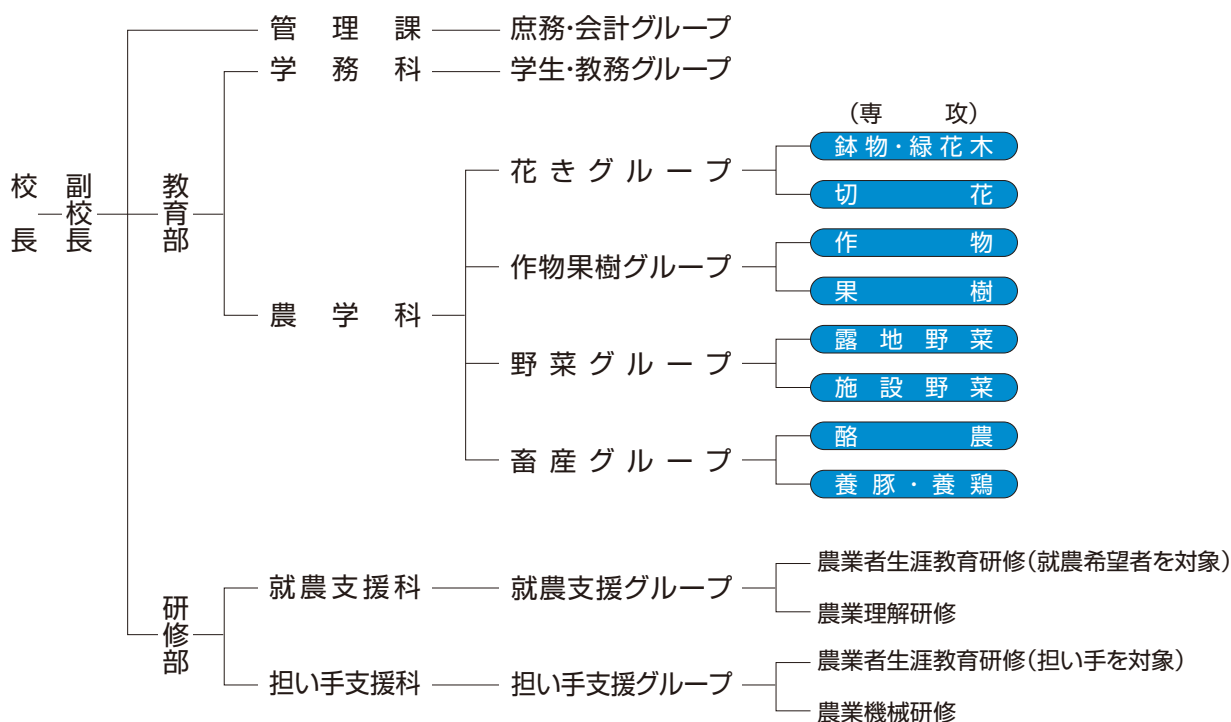
教育部

農学科 ● 高等学校若しくは中等教育学校卒業者を対象に2年間の全寮制による実践教育を基本として、
【総定員200名】 一般教養や農業の基礎的・専門的教育また先進農家への派遣実習等を通して農業の担い手を養成します。**学校教育法に基づく専修学校で、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。**

研修部

農業者には発展段階に合わせた知識・技術・技能を習得するための研修、県民には食料・農業に理解と関心を深めるための研修を行います。

組 織



職員数

校長	副校長	管理課	教育部		研修部		計
			学務科	農学科	就農支援科	担い手支援科	
1	1	7 (2)	11 (6)	24 (5)	6 (3)	6 (3)	56 (19)

※教育部長は学務科の人員に含まれます。

※()内数字は非常勤職員数で内数です。

施設設備の概要

本学は、水田(3.3ha)・果樹園(2.2ha)・普通畑(8.6ha)の実習ほ場、充実した実験実習の施設・設備及び公安委員会指定運転試験コースを備えています。



中央教育棟



情報処理研修室



図書室



大講義室



教室棟



体育館



鉢物・緑花木温室



切花温室



露地野菜ほ場



作物ほ場



施設野菜温室



果樹園



パーラー施設(フリースタイル牛舎)



システム豚舎



鶏卵出荷調整



和耕寮



農業機械施設



トラクター運転コース

教育部農学科

特徴

- 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行います。
- 専攻別に分かれ、少数精鋭の実習を主体とした実践教育を行っています。
- 2年間の全寮制です。なお、平成27年度に新寮が完成しました。
- 先進農家への派遣実習を実施しています。
- 1人1課題を設定しプロジェクト学習に取り組んでいます。
- オーストラリアにて7日間の海外派遣研修(ファームステイ)を実施しています。

行事・学習等

「農と食」の担い手にふさわしい知識と技術の養成を目指したカリキュラムが組まれています。



専攻・学習等

実践力を養うための多種多様な実験実習、演習、実習科目をそろえています。

●鉢物・緑花木専攻

ガラス温室4棟、遮光ハウス1棟、露地ほ場などで、鉢花・観葉植物・洋ラン・緑花木・花壇苗等、多くの品目を栽培しています。

温室管理、灌水、施肥、病害虫防除等の栽培管理全般を学習するほか、市場出荷や直売を行うことで、販売方法やマーケティングについても学んでいます。

1年生の2学期には、鉢花・観葉・洋ラン・緑花木の部門に分かれ、少人数体制による細やかな指導の下で、実践的な知識や技術を習得します。

2年生になると、担当する部門で責任を持って栽培管理に取り組みながら、プロジェクト学習を行います。近年のテーマは、省力化、低コスト化、商品価値の向上、新商品開発など多岐にわたっています。



●切花専攻

4棟のガラス温室や繁殖室、露地ほ場で、キクを中心に、バラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなど、県内で生産の多い品目を栽培しています。一部の施設には、LEDの電照設備やヒートポンプ暖房を導入しています。

切花農家の後継者だけではなく、最近是非農家出身の学生が増加しています。

1年生の8月までは、すべての栽培品目について栽培管理を学び、9月からは、キク、バラ及び洋花の3部門に分かれ、責任を持って栽培管理に取り組みます。生育状況を観察しつつ、必要な作業を学生と職員がともに考えながら実習を進めています。

1年生の後半からは、プロジェクト学習に取り組みます。テーマは栽培方法の検討、品種比較など様々ですが、いずれも単なる調査ではなく、品質向上やコスト低減、省力化など実際の農業経営の改善につながる課題を取り上げます。



●作物専攻

1haの大区画水田など大小9区画、計3.3haの水田ほ場で大型機械を利用し、水稲、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。また、育苗施設や乾燥調製施設を利用し、育苗から生産物の調製まで実習で行います。さらに、収穫物を利用した味噌や五平餅などの加工実習も行っています。

1年生では水稲栽培や機械操作の基本知識を身に付ける実習を進めています。

1年生の後半からプロジェクト学習が始まります。本校では農業総合試験場が開発した新品種や新技術をいち早く導入しており、これを題材にした新品種の栽培法や不耕起V溝直播栽培や稲WCSに関する課題、無農薬・無化学肥料栽培など付加価値の高い生産方法等に取り組んでいます。



●果樹専攻

露地面積は2.2haあり、ブドウ、ナシ、カキ、モモなど県内産地にあるほとんどの樹種を実習用に栽培しています。また、ブドウ、ミカン、イチジクのハウス栽培も行っています。

樹種が多様なため、開花期の4月から収穫前の7月までは摘果や袋掛けなどの管理作業で特に多忙です。

入学当初は多くの樹種の基本的な栽培管理技術を学びます。その後、希望する樹種とプロジェクト学習のテーマを決めて、より専門的な知識・技術を習得します。今年のテーマは、「ブドウ新品種シャインマスカットにおける簡易被覆が生育と品質に及ぼす影響」や、「ナシのジョイント栽培が収量、果実品質及び労働時間に及ぼす影響」などです。



教育部農学科

専攻・学習等

●露地野菜専攻

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、スイートコーン等の主要野菜に、新品目を取り入れて約40品目を栽培しています。また、イチゴも本専攻で取り組んでおり、促成作型で高設栽培を行っています。

露地野菜の実習は、屋外が中心で天候に左右され、重労働が多く大変ですが、農作業機械を駆使して2年生と1年生が協力して取り組んでいます。

プロジェクト学習は、2年間で1人2課題を実施します。学生自身が品目と研究テーマを決めて試験設計及び栽培計画を立て、播種から収穫・調製まで責任を持って管理します。実習やプロジェクト学習を通して、農作業機械の操作方法や実践的な栽培技術、経営管理能力を習得します。

今年度のプロジェクト学習のテーマは、「春ダイコンのマルチ資材の違いが生育・収量に及ぼす影響」、「春ハクサイの減肥が生育・収量に及ぼす影響」などです。



●施設野菜専攻

本専攻は10棟ある温室で、トマト、ナス、キュウリ、温室メロンを中心に栽培しています。最近では、土耕栽培に加えて、水耕栽培、ココバック栽培、袋培地栽培、少量培地密植栽培など、県内の現場で普及している最先端の栽培システムを導入しています。また、愛知県農業総合試験場や種苗会社と連携を図り、今後普及が見込まれるナスの単為結果性品種やトマトの耐病性品種などの実証栽培に取り組み、新技術の検証を行っています。

本専攻では、1年生の前半は主要品目の基礎栽培について幅広く学び、後半から卒業までの間に自分の希望する品目について研究テーマを設け、より専門的な実践技術を習得します。プロジェクト学習では、2年間で1人2課題を実施します。本年度は「トマトの低段摘芯密植栽培に適した品種の検討」や「ナスの単為結果性新品種の施肥量の検討」などに取り組んでいます。



●酪農専攻

新旧4つの牛舎でホルスタイン種の搾乳牛約25頭、育成牛約15頭、肥育牛約30頭および繁殖和牛5頭を飼育しています。また、自給飼料として牧草やトウモロコシ等を生産しています。

学生は、酪農を中心に肥育牛を含めた飼養管理技術を習得します。在籍する学生のうち約4割を女性が占めます。ほとんどが非農家出身者であり、多くの学生がここで初めて本格的な酪農作業を経験します。

初めて牛に触れる新入生も、2年生の助言を受けながら搾乳や給餌、除糞など基本的な管理作業を習得し、牛の扱い方に慣れていきます。2年生はより高度な技術習得とともにプロジェクト学習を行います。テーマは搾乳牛や子牛の飼養管理、繁殖、環境問題など多岐にわたります。

畜産の中では唯一見学を受け入れ、本校周辺の園児などが家畜とのふれあいのため訪れています。



●養豚・養鶏専攻

最近是在籍する学生が増え、賑やかになっています。その多くが養豚・養鶏の後継者ではありませんが、1年生の5月には本人の希望に沿って、豚と鶏のコースに分かれ、基本的な飼養管理を習得していきます。

養豚コースでは、県の系統豚であるアイリスを用いて豚の交配から肉豚出荷に至るまでに必要な技術と知識を学んでいます。また、深部注入人工授精やホルモン剤による発情の同期化など、新しい技術も積極的に取り入れています。

養鶏コースでは、開放・ウインドウレスの2種類の鶏舎で名古屋コーチンを主体とした採卵鶏を約2,400羽飼育しています。毎週水曜日の実習販売では卵の直売をしており、今年度は「岡崎おうはん」を飼育して新商品を販売するプロジェクト学習に取り組む学生もいます。



年間教育計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	入学	学習期間			夏休	学習期間	派遣実習		学習期間	冬休	学習期間	春休
2年	春休	学習期間			夏休		学習期間		冬休	総括学習	海外派遣研修	卒業

教育科目 ● 講義(17.5%) 演習・実験(26.3%) 実習(56.2%)

教養科目 ● 暮らしと経済 暮らしと法律I 自然科学 生物学実験 実践英語 体育

専門科目 ● 農業経営I 経営管理演習 農業機械実習 土壌と施肥設計 飼料作物
 農業政策 土壌肥料学実験 GAP概論並びに環境保全と農業 家畜栄養 海外派遣研修
 農業簿記 農業機械利用 情報処理演習 植物生理 家畜繁殖 卒業論文
 経営管理 育種と採種 病害虫と防除計画 家畜生理

選択科目 ● 暮らしと法律II 農村生活環境 バイテク論
 労働の科学 作物学概論 畜産学概論
 健康と栄養科学 園芸学概論
 農業経営II 文章表現 実用数学 農業時事
 資格取得講座(毒物劇物取扱者、危険物取扱者、ボイラー技士、大型特殊免許等)

資格・免許 ● 在学中に取得することができる資格、免許
 毒物劇物取扱者 大型特殊・けん引免許(農耕車限定) 危険物取扱者 ボイラー技士
 小型車両系建設機械 アーク溶接 フォークリフト 刈払機 家畜人工授精師 日本農業技術検定

学費等(1年間)

入学金 5,650円(入学時のみ) ※平成30年度の金額です。
 授業料 60,000円
 寄宿舎使用料 32,400円
 (左記の他に、生活・教材費として実費相当分(370,000円程度)、寮での食事代、光熱水費等が必要になります。)
 2年次には海外派遣実習費(約300,000円)が必要になります。



先輩達からのメッセージ
 上村 ねねさん[鉢物・緑花木専攻]

私の家は非農家ですが、幼い頃から花に興味があったため、農業高校に入学し、更に花についての知識を深めたいと思い、農業大学校へ進学しました。

鉢物・緑花木専攻では、花苗や花木類、観葉植物、洋ランなどを栽培しています。鉢物・緑花木専攻の最大の魅力は、“自分のやりたいことができる”ということです。先生と相談しながら、作目を増やしてみたり、新しい栽培方法にも挑戦することができます。

また、毎週水曜日に行っている直売や年に1回開催される農大祭では、栽培した苗類だけでなく、それらから商品を作って販売することもできます。

さらに農業大学校の魅力は、他の学校では学べないことや得られないものがたくさんあるところです。普段の実習の他にも1年次に行われる、40日間の先進農家さんの下で学ぶ派遣実習や寮生活など、農業を学びたい人はもちろん、自分を成長させたい人はぜひ農業大学校へ来てみませんか?



先輩達からのメッセージ
 佐川 ありすさん[果樹専攻]

家は非農家で、普通科高校出身の私がこの学校を選んだ理由は、幼い頃、祖父母の家で畑作業の手伝いをしていて農業に興味を持ち始め、その後も家庭菜園などをしていくうちに農業に惹かれたからです。

最初は親と離れて慣れない寮生活が不安でしたが、入学直後から新しい友達ができ、「おはよう」から「おやすみ」まで声が行き交う寮内の雰囲気や安心感を抱けるようになりました。また、共同生活をする中で、談話コーナーやお風呂場、洗面所などの共同スペースをどう使えばみんなが気持ち良いか考える力がつき、社会人に必要不可欠な協調性、社会性が身に付きます。

農大の先生方は、私のような農業の知識がほとんどない学生にも分かるような説明の仕方、丁寧に教えて下さるので心強いです。農業高校出身の方はもちろん、全く知識はないけど、農業に興味や少しでもある方にも是非、来て欲しいです。

教育部農学科

卒業後の主な進路

- 就農 50%程度 (自営・就職就農、将来予定含む)
- 就職 38%程度 ●進学、その他 12%程度
- 主な就職先 (順不同、平成27～29年度実績、一部に研修を含む)

農協関係	● JAあいち経済連 JAあいち中央 JA愛知東	JA愛知西 JA西三河	JA尾張中央 JAあいち豊田	JAあいち海部 JAひまわり
農業関連企業関係	● クボタアグリサービス(株) クラギ(株) (株)坪井花苑 トヨタネ(株) (福)愛恵協会	ヤンマーアグリジャパン(株) (株)コメリ 三河ミクロン(株) (株)野崎採種場 全農畜産サービス(株)	(株)大仙 DCMカーマ(株) (株)プラネット 昭和造園土木(株) 丸トポーターリー食品(株) (株)扶桑農産 (株)山三レンコン (農)ファームズ三好 (有)角田ナーセリー (有)南設ファーム (株)知多総合卸売市場	トヨタ白川郷自然学校 (株)ホームセンターアント 清和肥料工業(株) (福)無門福祉会 (株)丸吉商店 服部農園(有) (有)新鮮農場 関谷醸造(株) (有)竹内牧場 (株)奥三河チキンファーム 豊明花き(株)
農業法人関係	● (有)アグリ尾張中央 (有)鍋八農産 咲こう農場(株) (株)ドリームフィールド (有)ミルクファーム	(有)ゴトーアグリ (有)木曾岬農業センター (株)にいみ農園 (株)萬秀フルーツ農園 (株)福井牧場	(有)角田ナーセリー (有)南設ファーム (株)知多総合卸売市場	(有)新鮮農場 関谷醸造(株) (有)竹内牧場 (株)奥三河チキンファーム 豊明花き(株)
青果物等流通関係	● 丸進青果(株)	愛知県中央青果(株)	(株)知多総合卸売市場	豊明花き(株)
公務員関係その他	● 愛知県一般職非常勤職員(東三河農業研究所 農業大学校) 県立高等学校臨時実習助手(稲沢高校 安城農林高校 新城高校)			

●主な研修・進学先 (平成27～29年度実績)

研 修	● 海外研修(アメリカ オランダ) 国内研修(農業法人 先進農家)
進 学	● 4年制大学農学系学部3年次への編入(静岡大学 筑波大学 信州大学 岐阜大学他) タキイ研究農場園芸専門学校 日本自然環境専門学校



先輩達からのメッセージ
和田 崇良さん[露地野菜専攻]

私は高知県出身で、家はイチゴの専業農家です。高校は商業高校に進学したため、将来のことを考えて各県の農業大学校を調べました。

その中で愛知県立農業大学校は、学校の規模が大きく、現場実習は多く、寮も1人部屋で綺麗。農業を学ぶ環境が整っており進学を決めました。

入学後は農業に関する知識がないため、何をすることも戸惑いだらけでしたが、先生や先輩、同級生のおかげですぐに慣れ、毎日楽しく勉強しています。カリキュラムは農業について深く学び、多くのことが経験できるものになっています。特に、農家派遣実習は農家の考えや作業体系などの貴重な体験ができます。また、実習販売では自分達で作った野菜が目の前で売れていくのを見て、作る喜びや農業を選んだ意義を感じることができます。

もし、真剣に農業を学びたいと考えている人は、愛知県立農業大学校に入学すれば充実した濃い2年間を送ることができます。



先輩達からのメッセージ
秋山 美緒さん[養豚・養鶏専攻]

私は、実家がある兵庫県の農業高校で養豚を専攻していました。卒業後も養豚を学べる、農大への進学を希望しましたが、但馬牛で有名な兵庫県の農大には養豚専攻がなく、悩んだ末に東海・近畿地方で最も養豚

が盛んな愛知県の農大に進学しました。

養豚・養鶏専攻では、母豚20頭を飼養しており、年間400頭の肉豚を出荷しています。交配から肉豚出荷までに必要な飼養管理技術を学ぶとともに、自分たちで工夫しながら、新しい技術を積極的に取り入れています。また、先生や先輩からも多くを学び、同級生と切磋琢磨することで、日々成長していく自分を実感しています。

将来農業経営者を目指す人や、農業関係の仕事に就きたいと思う人にとって、自分の希望や目標が実現できる学校です。

海外派遣研修

農学科では、国際性を身につけ、グローバルな視野で農業を見る感覚を習得する目的で、2年次に1週間の海外派遣研修を実施しています。例年、オーストラリアでのファームステイを通して、現地での食生活や生活習慣、農作業等を体験します。専攻別視察では、現地の農家等を視察し、農業事情を学びます。

また、市場を見学する中で日本の市場との違いやマーケティングについても学びます。

初めて海外に行く学生も多く、通常ではできない経験や、ホストファミリーとの英会話を通して、自身で培ってきた語学力を試す良い機会ともなり、将来の就農・就職等において有意義な研修となります。



派遣実習

先進農家等の優れた知識・技術を体験させ、今後の勉学に役立たせる目的で、1年生時の9月中旬から10月下旬の約40日間にわたり農家への派遣実習を行います。

派遣実習は原則泊まり込みで、農家生活を体験します。

実践的な生産技術や経営方法、経営観に触れるとともに、多くの関係者と交流する機会を得て地域との関わりを知り、本校に在るだけではわからない農業を肌で感じ学ぶものです。また、農業について漠然としたイメージしか持っていない非農家学生が実際の農業経営に触れる事により、将来自分の進むべき道が農業か否か、またどんな経営に携わりたいのかを選択する、いわばインターンシップとしても位置付けています。

派遣実習に参加した学生からは、「大変ながらも貴重な体験をした」「学校では学べない知識技術を知った」の他、「コミュニケーション能力の大切さが身に染みてわかった」「自分の甘さを知り今後の自分を鍛え直したい」などの感想が寄せられています。



卒業生からのメッセージ
同窓会 副会長
野田 留美さん[平成6年卒業]

愛知県立農業大学校は今現在、県内で活躍している卒業生が数多く存在します。そして女性農業者の活躍も注目されています。最近では農業女子と呼ばれていますが、この農大から新たな農業女子が誕生することを

楽しみにしています。

在学中、農業関連の資格・免許を取る事ができることもメリットの一つだと思います。校内で大型特殊(農耕車限定)免許が取れる事は本当に便利かつ一生役に立ちます。農大に入ったら是非たくさん資格を取って将来に役立てて下さい。

農業を支える担い手が育つ場がまさに農大です。栽培技術の習得はもちろん、最大の特徴ともいえる寮生活で人の輪が広がります。

農大で農業のネットワークを育み、愛知県農業を盛り立てていきましょう。視野を広く持ち農業の可能性にチャレンジしてみてください。



卒業生からのメッセージ
加古 美沙希さん[平成28年卒業]

私が愛知県立農業大学校をお勧めする理由は2つあります。1つ目は実習が充実しているという事です。カリキュラムの6割がほ場での実践的実習で、その季節に合った農作物を育てるので現場に出た時に使える知識を得ることができます。

もう1つは、2年間の寮生活です。寮での共同生活は友人との仲を一層深めてくれ、休日の朝早くからの当番があっても、その後のたこ焼きパーティーなどはとても楽しい日々でした。

卒業した今でもよくご飯に行ったり、悩みを相談したりする親友以上の存在です。

農業大学校というと、みんな農家の子供かと思われがちですが、私達の学年は7割が非農家でした。また、普通科高校から進学してきた学生も少なくありません。将来農業に携わりたい人はもちろん、興味がある人にとっても魅力的な学校だと思います。

是非一緒に未来の農業を支えませんか。

是非一緒に未来の農業を支えませんか。

教育部農学科

学生寮での生活

農学科の学生は、全寮制による共同生活を送ります。学生寮は、平成28年1月に建て替えられ、全室個室となりました。各室にはエアコンを完備しています。トイレは全て洋式で、大きな共同浴場や食堂も併設しており、快適な生活を送ることができます。また、友人と歓談できる共有スペースとして談話コーナーも設置しています。



農大祭

農業大学校最大の行事が農大祭です。地域の皆様との交流を図り、愛知県の農業の魅力を県民の皆様を知っていただくことを目的に毎年12月の第1土曜日に開催しています。農大生が丹精込めて育てた自慢の農畜産物の販売や学生手作りの加工食品のバザー、農業大学校に関わる農業団体・企業の出展、農大キャンパスツアーなど、農業大学校を身近に感じて楽しんでいただける催しを行います。

平成30年度は12月1日(土)に開催します。

〔平成29年度の主な販売品目〕

花き：シクラメン、アンズリウム、ポインセチア、パンジー、キク、バラ

作物：コシヒカリ、あいちのかおり、もち米

果樹：愛宕ナシ、柿、シャインマスカット

野菜：キャベツ、白菜、にんじん、レタス、ダイコン、トマト、ナス

鶏卵：名古屋コーチン、烏骨鶏、アローカナ等の各種鶏卵



クラブ活動

農業大学校では、学生生活を健全で有意義なものとするため、学生が組織するスポーツ・文化・教養等のクラブ活動を支援しています。

平成30年4月現在、次のクラブがあります。

【体育関係】

野球、テニス、陸上、フットサル、バレーボール、
バスケットボール、バドミントン、卓球

【文化関係】

茶道、軽音楽、写真、農業商人塾

また、東海近畿地区の9校の農業大学校生が一堂に会して行われる「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」では、クラブの部員が中心となって参加し、毎年優秀な成績を収めています。

平成29年度の大坂大会では、バスケットボールで優勝、バレーボールとテニス団体戦で準優勝したほか、個人の部でテニス女子ダブルス、卓球女子ダブルス、テニス男子シングルス、バドミントン男子シングルスで優勝しました。



オープンキャンパス・体験学習

農業及び農業大学校への理解を深めてもらえるようオープンキャンパス及び緑の学園研修を開催します。

農大発見の日

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び受験相談等
対 象 ● 農業大学校に入学の関心のある方及び御家族等
開 催 日 ● 第1回 平成30年6月 2日(土)
第2回 平成30年6月16日(土)
開催時間 ● 午前10時から正午まで
参加申込 ● 事前申込不要、当日直接来てください。
問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ
(電話)0564-51-1602(ダイヤルイン)



サマーキャンパス

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び場内販売見学
対 象 ● 農業大学校に興味のある高校生及び県民の皆様
開 催 日 ● 第1回 平成30年8月 1日(水)
第2回 平成30年8月 8日(水)
第3回 平成30年8月22日(水)
開催時間 ● 午後1時30分から午後3時まで
参加申込 ● 事前申込不要、当日直接来てください。
問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ
(電話)0564-51-1602(ダイヤルイン)



緑の学園研修

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び体験実習
対 象 ● 農業大学校に興味のある高校生
開 催 日 ● 第1回 平成30年 7月26日(木)
第2回 平成30年 7月31日(火)
第3回 平成30年 8月21日(火)
第4回 平成30年 8月23日(木)
第5回 平成30年12月25日(火)
開催時間 ● 午前10時から午後4時30分まで
定 員 ● 各回30名
参加申込 ● 受講申込書によりお申込みください。
問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 研修部就農支援科
(電話)0564-51-1034(ダイヤルイン)



参加者の感想・意見

- どれも魅力的で、実際に入学して、勉強したくなるようなところばかりでした。
- 非農家の子供でも、しっかりとした授業が受けられると思いました。
- 是非農大に入りたい気持ちでいっぱいになりました。
- 最後にいただいた巨峰がとてもおいしかったです。私も、農大に入学したら美味しいぶどうを作りたいです。
- 酪農について学びたかったので良き機会になってよかった。
- 自分で育てた作物、生き物を食べるところまで学べて良いと思った。
- とても本格的な施設に驚きました。もっと、地域社会に知られればと思いました。

研修部

特徴

- 農業者や新たに農業を目指す人達を対象に、農業に関する知識・技術・技能を習得するための「農業者生涯教育研修」を実施します。
- トラクターなどの農業機械を安全・効率的に使用するための「農業機械研修」を実施します。
- 県民を対象に、食料・農業・農村に対する理解と関心を深めるための「農業理解研修」を実施します。
- 本校の施設を積極的に活用して多くの県民が参加できる農業とのふれあいの場づくりを進めます。

農業者生涯教育研修

緑の学園研修

主に高校生(農業を学びたい高等学校卒業者を含む)を対象に、1日農業体験を通じて農業への理解を深めます。また、農業関係高校生を対象に地域の農業・農村の理解を図ります。

ニューファーマーズ研修

Uターン就農者、新規参入者を対象に、農業経営に必要な基礎知識・技能の修得を図ります。

農業者育成支援研修

新規就農希望者を対象に、就農に必要な基礎的な経営や技術に関する知識及び露地野菜栽培に関する技能の修得を図ります。

雇用創出農業研修

新たに農業経営を開始したり農業法人等へ就職を希望する離職者等を対象に、約9カ月間、農業に関する基礎知識・技術の修得を図ります。

経営管理研修

経営管理能力・分析能力・企画能力・危機管理能力等の向上を図るため必要な知識・技術の習得を図ります。

生産高度化研修

野菜や畜産など生産部門別に新技術及び経営に関する知識の習得を図ります。

農産物利活用研修

起業や6次産業化に必要な農産加工等に関する知識・技術の習得を図ります。

G A P 研修

農業経営の改善につながるGAP(農業生産工程管理)の取組を広く普及させるため、必要な知識の修得を図ります。

女性農業者支援研修

女性農業者を対象に、農業経営の向上に必要な知識の修得を図ります。

農業経営塾

優れた経営感覚を備えた農業者を育成するため、経営に関する高度な知識の修得を図ります。



緑の学園研修



ニューファーマーズ研修



農業者育成支援研修



経営管理研修



生産高度化研修



農産物利活用研修

農業機械研修

道路交通法に従い、安全に農耕車を運転する免許を取得します。

大特免許研修 **けん引免許研修**

労働安全衛生法に基づく資格を取得します。

フォークリフト研修 **小型車両系建設機械研修**

刈払機研修 **アーク溶接研修**

機械化営農に必要な技能・知識を習得します。

大型トラクター作業研修 **小型トラクター利用研修**



けん引免許研修



フォークリフト研修



アーク溶接研修



大特免許研修



小型車両系建設機械研修



大型トラクター作業研修

農業理解研修

県民公開講座

県民を対象に、食料・農業・農村に関する理解を深めるための研修を実施します。

農業ふれあい研修

園児・小中学生等を対象に、農業に親しむためのプログラムを通じて農業理解を深めるための研修を実施します。



県民公開講座



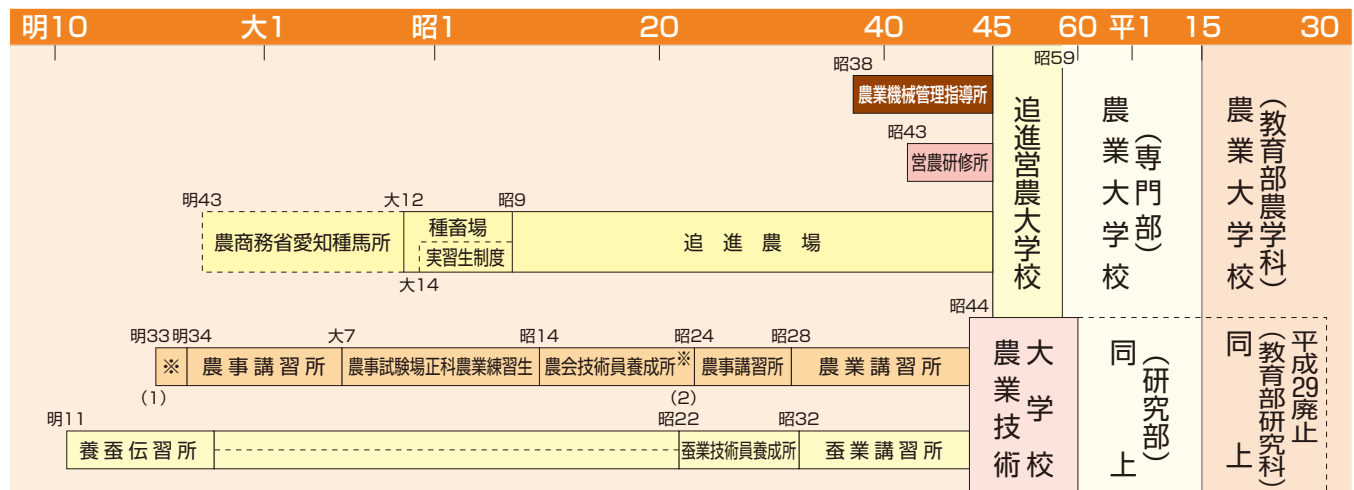
農業ふれあい研修

用地・施設の概要

●総面積38.99ha

施設	棟数・面積・頭羽数等
中央教育棟 教室等 体育施設 学生寮・食堂 旧本館	1棟 2,500㎡ 教室棟1棟 2,313㎡、追進館1棟 490㎡、バイテク馴化温室1棟 214㎡ 体育館1棟 821㎡、運動場 11,880㎡ 和耕寮1棟 4,722㎡ 1棟 835㎡(西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室)
専攻別施設 鉢物・緑花木切作 果樹 露地野菜 酪農 養豚・養鶏	管理棟1棟 110㎡、温室4棟 1,240㎡、遮光施設 302㎡、資材棟1棟 231㎡、緑花木ほ場 3a 温室4棟 1,251㎡、繁殖室 255㎡、出荷調整室1室 117㎡、露地ほ場 2a 管理棟1棟 207㎡、作物収納庫 102㎡、水稻育苗室1棟 113㎡、水田 330a、 米乾燥調製学習施設1棟 63㎡ 管理棟1棟 211㎡、附属施設1棟 17㎡、ブドウ園 80a、ナシ園 40a、カキ園 98a、モモ園 30a、 ブドウハウス1棟 520㎡ 管理棟1棟 134㎡、野菜畑 150a、イチゴ電照ハウス1棟 475㎡、育苗ハウス 475㎡ 管理棟1棟 151㎡、温室6棟 2,430㎡、育苗施設1棟 360㎡、ハウス3棟 1,200㎡、 ポイラー室1棟 24㎡ 管理棟1棟 137㎡、乳牛舎1棟 1,074㎡、肥育牛舎1棟 432㎡、育成牛舎2棟 1,271㎡、 ハーベストサイロ1基、わら庫1棟 202㎡、飼料敷料庫1棟 393㎡、家畜糞尿処理施設1棟 368㎡、 堆肥舎1棟 165㎡、飼料作物ほ場 575a 管理棟1棟 65㎡、システム豚舎1棟 393㎡、堆肥発酵施設1棟 222㎡、繁殖豚舎1棟 204㎡、 畜産雑排水処理施設 704㎡、ウインドゥレス成鶏舎 162㎡、ウインドゥレス育雛舎 93㎡、 モニター式開放鶏舎 180㎡、パイプハウス平飼料鶏舎 58㎡、鶏卵検査施設 177㎡
研修用施設 農業機械施設	機械研修棟1棟 324㎡、機械教室1棟 143㎡、機械庫2棟 813㎡、作業機庫1棟 300㎡、 給油取扱所2棟 37㎡、運転管理室1棟 45㎡、運転コース1面 13,662㎡、トラクタ 15台、 作業機 36台等
生産物流通管理施設	1棟 680㎡

沿革



注(1) ※農事研究生制度(農事試験場内) (2) ※昭和19年愛知県農業技術員養成所と改称

愛知県立農業大学校平面図



募集に関する詳細は、愛知県立農業大学校教育部学務科（電話0564-51-1602）
又は最寄りの農林水産事務所農業改良普及課へ問い合わせてください。

なお、募集案内等、出願に必要な書類の郵送を希望する人は、『学生募集案内
希望』と朱書し、あて先明記の返信用封筒（24cm×33cm、郵便切手205円分
を貼ったもの）を同封して愛知県立農業大学校に申し込んでください。

また、インターネットホームページにも掲載してあります。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

所在地と交通案内

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1-2

TEL 管理課 (0564)51-1601

学務科 (0564)51-1602

農学科 (0564)51-1673

研修部 (0564)51-1034

FAX (0564)51-4831

- 名鉄美合駅下車 徒歩約10分
- 東名岡崎インターチェンジから車で約10分
- JR岡崎駅下車 名鉄バス「東岡崎(緑丘経由)」か「市民病院(美合経由)」行き「平地」
下車 徒歩約5分

